

山田第五小学校における学校規模適正化に伴う 留守家庭児童育成室の方向性について

吹田市教育委員会
地域教育部
放課後子ども育成室

留守家庭児童育成室の方向性

学校規模適正化により山田第五小学校が山田第三小学校と統合することに伴い、山五育成室についても、山三育成室への統合を行います。

山五育成室（市直営）



統合

山三育成室（民間委託）

山三育成室の概要

1 運営事業者

社会福祉法人 光聖会

2 事業者の主な実績（吹田市内）

（1）吹田市立留守家庭児童育成室

平成27年度から	千里丘北育成室（現在8教室）
平成28年度から	山三育成室（現在2教室）
令和6年度から	千二育成室（7教室を予定）
	青山台育成室（2教室を予定）



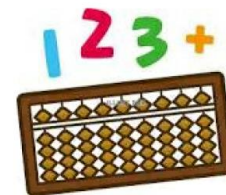
（2）保育施設

千里丘キンダースクール（私立認定こども園）
千里丘北キンダースクール（私立認定こども園） など

留守家庭児童育成室「直営」と「委託」の比較

	直営	委託
実施主体	市	市
運営主体	市	<u>事業者</u>
使用料徴収	市	市
おやつ代徴収	市	<u>事業者</u>
おやつの提供	市	<u>事業者</u>
施設管理・警備	市	市
賠償責任・傷害保険	市	市
開室終了時間（延長）	午後 6 時 30 分まで	<u>午後 7 時まで</u>
開室開始時間（長期休業中）	午前 8 時 30 分から	<u>午前 8 時から</u>

※ 山三育成室独自の取組として、そろばん学習や
夏休みの昼食提供（週 1 回）などを実施しています。



民間委託の取組について

目的

- 対象学年の拡大（6年生まで）に向けた受入体制の確保。
- 開室時間の延長等、社会的ニーズへの対応。



現状

- 平成29年度に 4年生まで拡大したが、利用児童数の増加及び指導員の不足により、待機児童が発生。
※当分の間、4年生までの待機児童解消と安定した運営に専念し、5・6年生の受入れ拡大は延期
- 36育成室のうち14か所で運営を委託し、指導員を確保するとともに、開室時間の延長を実現。
※委託育成室では待機児童が発生していません

山五育成室における民間委託の経過

平成31年度（令和元年度）に山五育成室の民間委託を実施しましたが、1年で契約解除となり、直営に戻った経過があります。

【原因】当初配置予定であった実務経験者が配置されず、未経験者のみで運営を開始したことにより、適切な保育ができなかった。

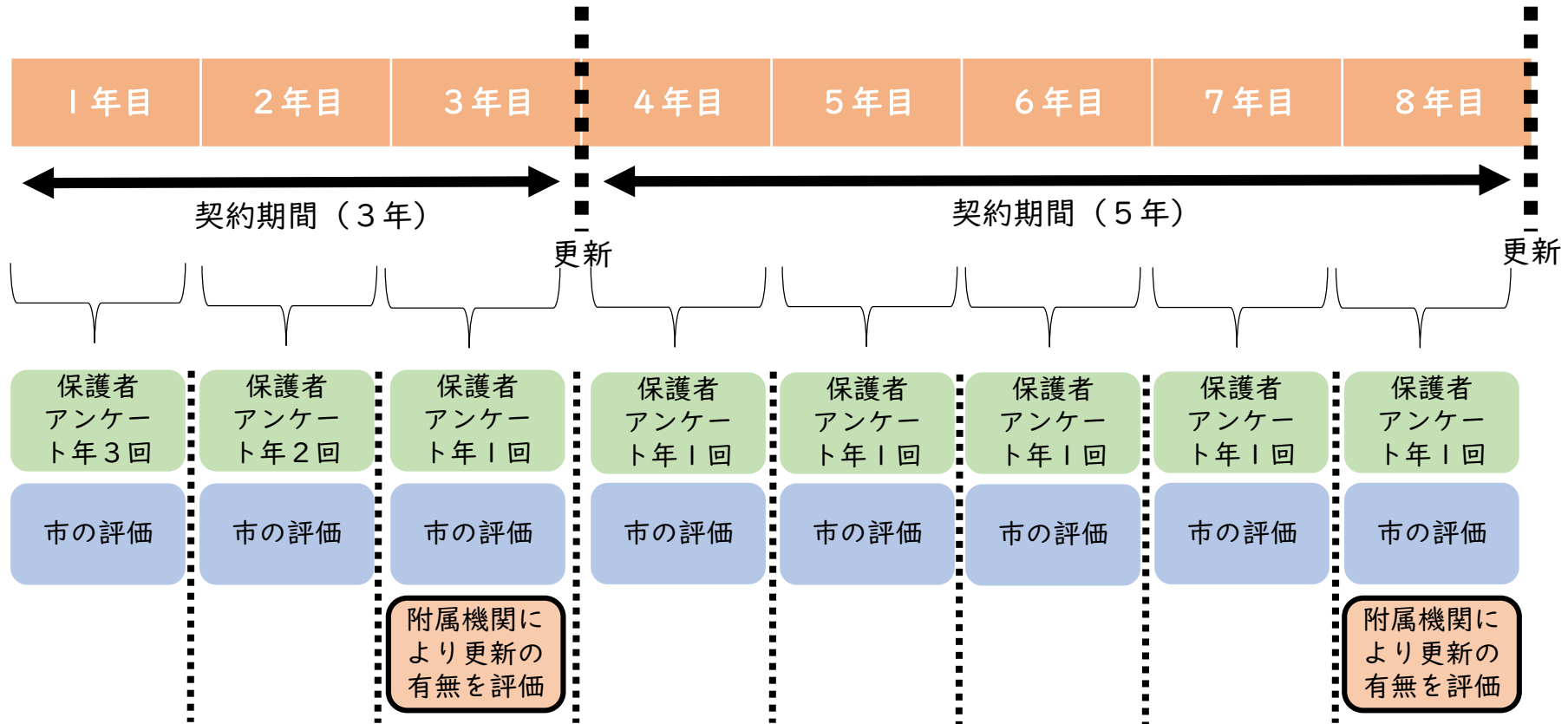
途中から実務経験者を配置し、市による巡回頻度も増やしたが、児童・保護者との関係を構築することができなかった。



【現在の山三育成室の体制】

- ・主任指導員：実務経験年数9年
- ・主担任：実務経験年数3年以上
- ・放課後児童支援員資格所有者3名
- ・所属人数16名（非常勤含む）

委託している育成室の運営状況の評価



※ 毎年度、各育成室のアンケート結果は市ホームページでご覧いただけます。

安心して山三育成室を利用していただくために

1 交流事業

小学校と同様に、育成室でも令和6年度に交流行事などを行う予定です。

- ・ 児童同士の交流
- ・ 児童と指導員の交流



2 引継ぎ

児童一人ひとりについて、山五育成室の指導員から山三育成室の指導員に引継ぎを行います。

※ 統合後の運営（行事等）については、山三育成室の内容が基本となります。